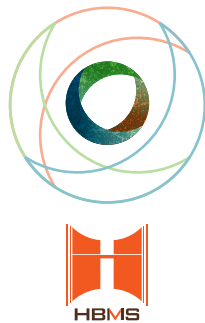




文部科学省認定
職業実践力育成 (BP)
プログラム

公的病院幹部を対象とした
病院経営持続性を高める
医療経営人材
養成プログラム

2023年度



広島県公立大学法人 県立広島大学
HBMS 地域医療経営研究センター

center for regional
Health policy, Business and Management Studies

※本プログラムは、厚生労働省の教育訓練給付制度の「特定一般教育訓練」に指定されています。

本プログラムについて

地域医療の確保に貢献する病院の 経営持続性を高める学習プログラム

地域医療を守るために、公的病院等が社会から期待される診療機能の役割を果たし、持続可能な医療提供をするためには、病院の経営力を高めることが必要となります。

県立広島大学 HBMS 地域医療経営研究センターでは、社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的とした文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)の認定を受けて、公的病院、そしてまた地域医療連携に関心を持つ民間病院の幹部を対象にした医療経営に関する体系的な学びと訓練の機会を提供する医療経営人材養成プログラムを2021年度より開催いたしております。

病院経営陣を構成する病院幹部の皆様に向けて、地域医療を守るために病院の経営力を高める段取についても考えていただく機会として、実務に即した医療経営に関する広範で高度な教育プログラムをご用意いたします。

本プログラムの特徴と概説

病院経営管理者のための知識・見識・胆識の三識の学びを編成

■ 医療の事業経営 / 知識の学び (24 講義)

地域医療の確保に貢献する病院の経営陣に就くために
医療事業の経営管理に役立つ知識と考え方を身につける。

■ 医療経営の原理 / 知識・見識の学び (8 講義)

公的な医療介護保障を持続させるために制度の運営と政策を推進する
国や自治体の動向を理解して、病院経営に活かす術を身につける。

■ 医療経営リテラシー / 見識・胆識の学び (8 講義)

地域医療の確保に貢献する病院の経営陣として
経営なるものの考え方や心構えに役立つ教養を身につける。

POINT



- 1 病院幹部を対象に医療資源（ヒト・モノ・カネ・情報等）のやり繰りを基本概念とした医療経営を体系的に学ぶプログラムを提供します。
- 2 講師陣には政策や経営に詳しい教員および実務家教員、そして第一級の実務家が多数揃います。
- 3 小規模な学習環境において、座学と演習・グループディスカッションを組み合わせた講義を実施します。
- 4 オンライン講義と感染対策を施した講義室での対面講義を組み合わせたスクーリングを予定します。

開催日程

2023年10月～2024年3月 全10回

土曜日開講 10:20～18:10 (4コマ)

※1コマ:100分

① 10:20-12:00

② 12:50-14:30

③ 14:40-16:20

④ 16:30-18:10

第1回、第10回はハイブリッド(対面(県立広島大学広島キャンパス大講義室を予定)+オンライン)開催
第2回～第9回はオンライン開催を予定

日程及びプログラム内容

■ **【知識】** 医療の事業経営 □ **【知識・見識】** 医療経営の原理 □ **【見識・胆識】** 医療経営リテラシー

開講日	プログラム内容(①～④コマ)	講師	開講日	プログラム内容(①～④コマ)	講師
1 2023 10/7 (土)	<ul style="list-style-type: none"> □ 医療経営人材養成とプログラムオリエンテーション □ 地域ニーズに合致した病院機能の変革 □ 内閣感染症危機管理の新組織について(仮) □ 医療の経営学とは Health Policy, Business and Management 	西田 在賢 松田 晋哉 福島 靖正 西田 在賢	6 12/16 (土)	<ul style="list-style-type: none"> □ 医療経営の倫理「部長は部長のように、院長は院長のように」 ■ (演習) 病院経営努力の見える化を図る KPC 分析 ■ 地域医療連携と ICT ■ 外来診療とかかりつけ医機能 	土肥 博雄 西田 在賢 秋山 祐治 田極 春美
2 10/21 (土)	<ul style="list-style-type: none"> □ 医療政策経営ウォッチング ■ 医療経営のパラドックス(公私病院の定義と経営) ■ 医療情報のマネジメント □ 地域医療構想と病院改革(仮) 	仲野 豊 西田 在賢 島川 龍載 尾形 裕也	7 2024 1/20 (土)	<ul style="list-style-type: none"> □ 医療経営の倫理「全国初の自治体病院同士の統合実現の舞台裏」 ■ (演習) 病院経営戦略ケーススタディ 	原田 英之 橋本 英樹 西田 在賢 島川 龍載
3 11/4 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 病院経営におけるアカウンティングの重要性 ■ 病院事業とオンライン診療 ■ 病院の原価管理そして KPC 分析の紹介 □ ポストコロナの医療提供体制の課題 	西田 在賢 島川 龍載 西田 在賢 宮島 俊彦	8 2/10 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中小病院の生き残り戦略 / コミュニティ・ホスピタルの提案 ■ 病院経営の将来を考える ■ 多職種連携のマネジメント □ 支払基金の改革とデータヘルス 	大石佳能子 遠藤 邦夫 山口 雅子 神田 裕二
4 11/18 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療介護の事業ドメインを考える ■ (演習) ヘルスケアビジネスの事業スペクトル展開 □ 医療を中心とした社会保障の動向 ■ 病院リスクマネジメント 	西田 在賢 島川 龍載 木倉 敬之 山口 雅子	9 2/24 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 来年度の診療報酬改定を診る ■ ヘルスケアのエリア分析 ■ 病院建替と経営持続性の課題 □ 医師の働き方改革と地域医療構想 	仲野 豊 武田 浩二 宮林 政好 島崎 謙治
5 12/2 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 病院情報セキュリティマネジメント ■ 病院のマーケティングとは ■ 病院のマーケティングとは(続き) □ 社会保障制度と医療介護政策 	島川 龍載 岩崎 邦彦 濱田 淳	10 3/9 (土)	<ul style="list-style-type: none"> □ 社会と医療のシステムデザイン「経営人材をどう育成するか」 □ 医療 DX 推進の工程表 □ 今後の医療改革(仮) ■ 学びの整理(質疑応答と各人の学びの総まとめ) 	横山 禎徳 武見 敬三 迫井 正深 西田 在賢

※ 講師の都合により、プログラム内容、講師情報は変更の可能性があります

講師陣

プログラムコーディネーター
および講座進行

西田 在賢 (HBMS 地域医療経営研究センター長)
島川 龍載 (センター特命講師)
山口 雅子 (センター客員研究員)

- 松田 晋哉 産業医科大学医学部公衆衛生学教授
- 福島 靖正 厚生労働省医務技監
- 仲野 豊 仲野メディカルオフィス代表
- 尾形 裕也 九州大学名誉教授
- 宮島 俊彦 日本製薬団体連合会理事長、元厚生労働省老健局長
- 木倉 敬之 県立広島大学客員教授、全国健康保険協会理事、元厚生労働省保険局長
- 岩崎 邦彦 静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科教授
- 濱田 淳 川崎医療福祉大学特任教授、岡山大学名誉教授、元厚生労働省大臣官房企画官、元内閣府参事官
- 土肥 博雄 県立広島大学客員教授、広島大学学長特命補佐、広島赤十字・原爆病院名誉院長
- 秋山 祐治 川崎医療福祉大学副学長、川崎医療短期大学学長
- 田極 春美 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング主任研究員
- 原田 英之 前静岡県袋井市長、元静岡県健康福祉部長
- 橋本 英樹 東京大学医学系研究科公共健康医学専攻保健社会行動学分野教授
- 大石佳能子 メディヴァ代表取締役
- 遠藤 邦夫 HBMS 教授、矢野経済研究所客員研究員
- 神田 裕二 県立広島大学客員教授、社会保険診療報酬支払基金理事長、元厚生労働省医政局長
- 武田 浩二 矢野経済研究所主任研究員
- 宮林 政好 戸田建設 医療福祉部次長
- 島崎 謙治 国際医療福祉大学大学院教授、政策研究大学院大学名誉教授、元厚生労働省保険局保険課長
- 横山 禎徳 HBMS 研究科長、元マッキンゼー東京支社長
- 武見 敬三 参議院議員、元厚生労働副大臣、元東海大学教授
- 迫井 正深 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長、元厚生労働省医政局長

講義スケジュール順

募 集 概 要

プログラム名称	公的病院幹部を対象とした医療経営人材養成プログラム (文部科学省認定 履修証明プログラム「職業実践力育成 (BP) プログラム」)
募集定員	20名程度
本プログラムの 想定する受講者	主に公的病院等の経営幹部 (※ 医療経営を真摯に学ぼうとする医療法人等の民間病院幹部の方を拒むものではありません) ※ 診療側は、院長、副院長、看護部長およびそれらに準じる方や候補となる方 ※ 事務側は、事務長・事務部長、課長およびそれらに準じる方や候補となる方
受講資格	高等学校を卒業した者、または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者であって、医療機関（法人本部や支部等の所属を含む）や医療機関の経営に関係する公的機関での勤務経験を 10 年以上有すること。 ただし、現職が本プログラムの想定する受講者（公的病院等の経営幹部）に該当する場合はこの限りではない。 ※ 受講資格について、不明点がある場合や、上記と同等と認められる経歴がある場合などは個別の相談に応じるので、プログラム事務局まで問い合わせること。 ※ 書類選考により、受講できない場合がある。なお、医療機関の経営に関係する民間病院や公的機関等に所属する者については若干名受け入れる場合がある。
修了要件	全プログラムの 9 割となる 60 時間以上受講した者を対象に、各講義で課すレポートと最終講義後に提出する総合レポートの内容が合格とした場合、修了と判定し、履修証明書を交付する。履修証明プログラムは学位課程と異なり、学位や単位が授与されるものではないため、留意すること。
申込方法	1. 募集ページ (https://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/events/archives/10742) の申し込みフォームから入力を行う。 2. 募集ページよりダウンロードした大学様式の①履修証明プログラム履修許可願、②履歴書、③同意書に必要事項を記載し、プログラム事務局宛に郵送する。 ※ 同意書の署名者は施設の長が望ましいが、直接の上席者でも良い。 ※ 申込書類は原則、返却しない。 ※ 最終学校の卒業証明書等の提出を求める場合がある。
申込締切	2023 年 9 月 29 日 (金) ※ 消印有効 ※ 申込者順に受講資格を確認し、30 名を超えたときには、そこで受付終了とする。
受講料	160,000 円 (税込) ※ 教材費含む。ただし、講義中に提示する参考図書や通学にかかる経費等は含まれない。 ※ オンライン講義では、パソコン、ウェブカメラ、ヘッドセット、インターネット環境等が必要になるため、各自で準備すること。 ※ 受講を許可した場合、支払い方法等について、受講者と事務窓口担当者に個別に連絡する。 ※ 納入後の受講料は、いかなる理由においても返還しない。
個人情報の 取り扱い	受講申請にあたって知り得た個人情報は、①受講手続き、②教務管理、③受講生支援に関する業務など、HBMS 地域医療経営研究センターの運営に使用する。

プログラム事務局（問合せ先・書類郵送先）

広島県公立大学法人 県立広島大学 HBMS 地域医療経営研究センター

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目 1 番 71 号

082-251-9735

hbpms-office@pu-hiroshima.ac.jp

<https://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/forpublic/project/hbpms>

